

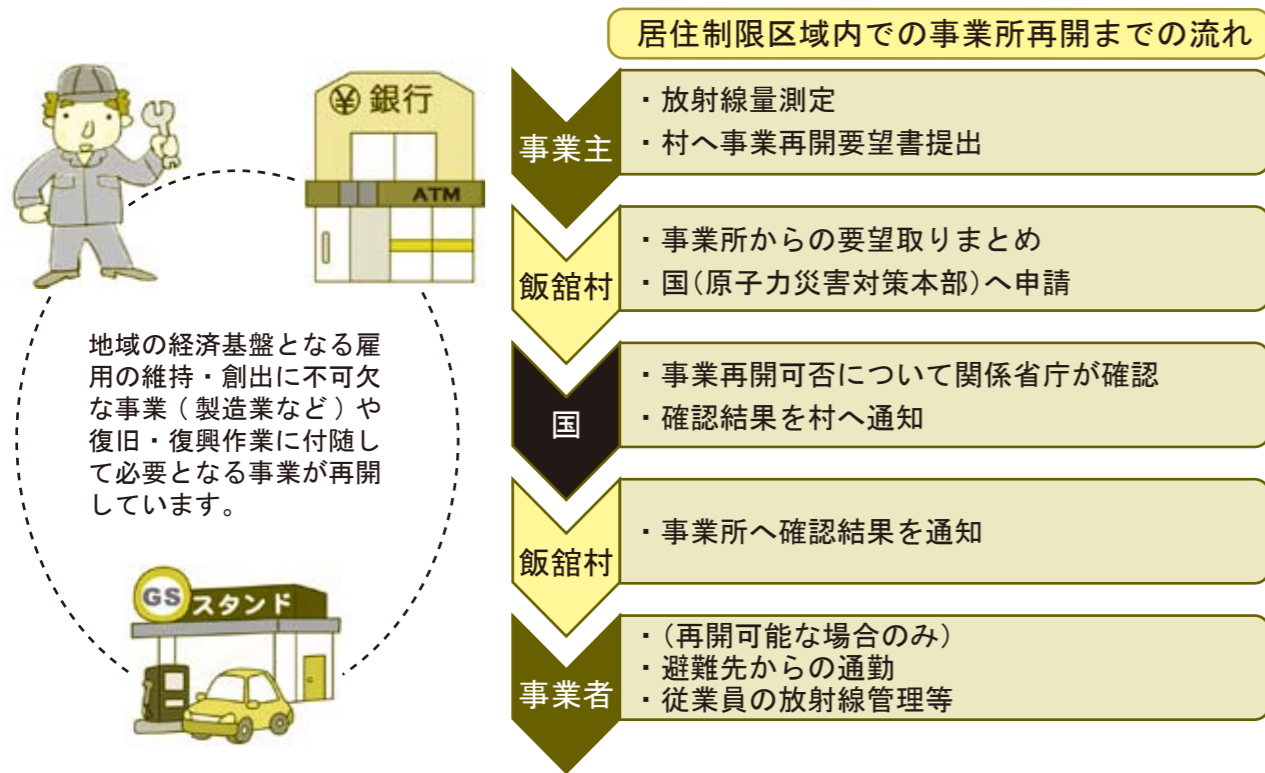
## 村内で再開・継続している事業所について

村が7月17日に計画的避難区域から、避難指示解除準備・居住制限・帰還困難の3区域に再編されたことから、帰還困難を除いた区域では一部村内での事業再開が認められました（居住制限区域では国の許可が必要となっています）。

復旧・復興や雇用維持のため、製造業や金融業などの例外的な事業再開が可能となり、要望のあった対象事業所について村が国へ再開確認を行い、8月10日までに7事業所が事業所再開を認められています。

また、計画的避難区域の折に特別な許可を得て村内で継続操業していた事業所はそのまま継続を認められており、現在特別養護老人ホームを含めた7つの事業所が操業しています。

各事業者は村外（避難先）から通勤することや、従業員が受ける放射線量を最小限とするため屋外作業を可能な限り控えること、従業員の放射線管理をすること等の順守事項が定められています。



居住制限区域内で事業再開を認められた事業所  
(平成24年8月10日現在)

事業所名	地区
1 あぶくま信用金庫	草野地区
2 飯舘自動車工業	草野地区
3 (有)北原商店	草野地区
4 (有)佐藤モーターズ	上飯樋地区
5 渡辺輪業自動車整備工場	飯樋町地区
6 (有)臼石自動車整備工場	臼石地区
7 丸萬建具店	臼石地区

計画的避難区域より事業継続を認められた事業所  
(平成24年8月10日現在)

事業所名	地区
1 (株)菊池製作所福島工場	草野地区
2 特別養護老人施設 しいたてホーム	伊丹沢地区
3 山田電子工業(有)	八木沢・芦原地区
4 (有)フクホウ工業	八木沢・芦原地区
5 三坂製作所	臼石地区
6 (株)ハヤシ製作所	臼石地区
7 HOEI工業	前田地区

○お問い合わせ 生活支援対策課商工労政係 (☎024-562-4232)

## 「分かりにくい」放射線を「分かりやすく」



▲事業内容を検討する委員のようす

参加した委員からは「放射能については良く分からないので、学校の授業で子どもが放射能の知識をつけてもらえるとありがたい」「転校した子どもにも放射線教育が受けられる場を作って欲しい」といった教育リスクコミに対する期待や要望が出され、また、「住民アンケートでは『分からないのもっと知りたい』という結果が高齢者に多い。それがなぜなのか解明しなければいけないのでは」といった意見も出されました。これから放射線についてのリスクコミュニケーションを進めていくために、各部会で連携しながら活動が行われます。

放射線についての情報提供や意見交換を進めていく「しいたて健康リスクコミュニケーション推進委員会」が飯野出張所で開かれました。第2回となったこの日は、児童・生徒や保護者を対象に学校等で放射線教育や心のケアを行う「教育リスクコミ部会」、村民一般を対象に講演会や勉強会を行っていく「一般リスクコミ部会」、放射線の知識や日常生活での放射線への疑問などを冊子で伝えていく「編集リスクコミ部会」の3つの事業部会がそれぞれの事業への取り組み状況と今後の事業計画を報告しました。

## リスコミ

※リスコミ(リスクコミュニケーション)健康への影響についての情報を共有し専門家と意見交換していくこと

### 第2回しいたて健康リスクコミュニケーション推進委員会開催

8/21

#### ○一般リスクコミ部会

##### 事業計画

- 各仮設住宅・公営住宅等でのリスクコミュニケーションの実施
- ホールボディカウンタの検査結果の説明や生活習慣病・心の病気にも対応したよろず健康相談の継続 等

#### ○編集リスクコミ部会

##### 事業計画

- 放射線についての疑問や不安に応える情報を漫画なども入れながら冊子にまとめる
- 広報と一緒に、放射線についての冊子を全村民向けに配布 第1号を10月5日から月1回発行予定

#### ○教育リスクコミ部会

##### 事業計画

- 平成24年度2学期より小学1年生から中学3年生を対象に放射線に関する授業を実施
- 避難による子どもたちのメンタルケアを行うため「心のケア」や「いのちの教育」を実施



▲放射線教育教職員研修会のようす (7/30)